

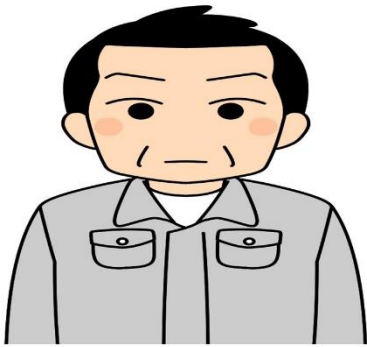
残業代問題 の相談例

(労働時間・管理監督者・固定残業)

労働問題マンガ教材

労働問題ケーススタディ
紙芝居

建設会社



A部長

こちら、A部長です。A部長は、建設会社に勤務しています。工事部長として部下のメンバーをまとめあげて、毎日、工事現場でがんばっていました。

『ふー、毎日、忙しいなあ。』

でも、この仕事って、すごいやりがいがあるよなあ。

うまく建物が建てられて、お客さんが喜んでくれたときって、本当にうれしいもんだよなあ』



B社長

こちらは、B社長です。

B社長は、もともと、とび職をしていたところ、一念発起して建設会社を立ち上げ、今では50人の社員を抱えて毎日がんばっています。

B社長は、若いころに自分が苦勞した経験から、社員をとてめかわいがっていました。

『おお、Aさん、今日もおつかれさま。毎日みんなをまとめあげてくれて、本当にありがとうね』

このような、おだやかな人柄のB社長に、Aさんをはじめとする社員はみなB社長を慕っていました。



ご両親高齢 体調不良

退職 実家帰る



そんなある日のことです。

こちらは、Aさんの奥さんのC子さんです。

『あなた、今、あなたの実家のお母様から電話があって、また最近、お父様の具合がよくないて連絡が入ったわよ。なんとなくだけど、お父様の介護をお母様お一人するのはもう限界なのかもしれないという雰囲気を感じたわ』

Aさんのお父さんは、もともと高齢であることに加えて、病気がちであり、体調不良になることが増えていました。

Aさんのお母さんも、Aさんのお父さんほどではないですが、体調を崩すことがありました。

そのため、以前から、Aさんは実家に帰ることを考えていました。

そのような中、今回の連絡が入ったため、とうとうAさんは、会社を退職して実家に帰ることになってしまいました。

『Aさん、君には、本当に助けてもらったよ。このような形で君に会えなくなることは本当に残念だけれども、もちろん、お父様のお体が最優先だからね、名残惜しいよ。今まで本当にありがとうね』



『社長、私のほうこそ、本当にお世話になりました。毎日、とても充実していました。本当にありがとうございました』

こうして、Aさんは、実家に戻り、お父さんの介護をするようになりました。

そして、しばらくしてから、ある日のことです。



『急いで実家に戻ってきたけど、これから仕事どうしようか。介護しながらできる仕事を見つけないとな。これからの生活を考えると、ちょっと不安だなあ』

そんなある日ことです。

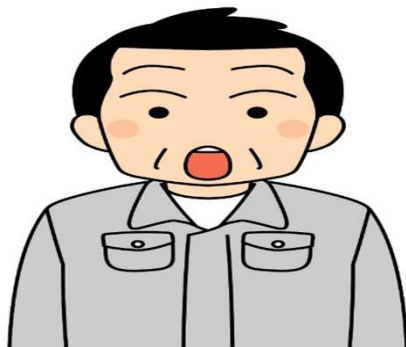
Aさんの奥さんのC子さんがAさんのところにやってきました。

奥さん
Aさんの



C子さん

『ママ友から聞いたんだけど、ママ友のご主人が会社に残業代請求っていうのをしたらしいの。そうしたら、500万円支払ってもらったんですって。しかも分割ではなくて一括払いで。法律っていろいろ難しいらしくて、残業代の計算間違いや、支払い漏れってよくあることらしくて、正確に計算したらそういう金額になったんですって』



『え、ええー！それってすごい金額だね。そんなことってあるんだね。びっくりだねえ。でも、うちの社長にかぎってそんなことは絶対ないと思うんだよ』



『そうよね、社長はあなたに本当によくしてくれたものね。私もそう思うんだけど、万が一っていうこともあると思ったので、一応伝えてみたわ。もし、気になったら、いろいろと相談だけするっていうこともできるらしいわよ』



それからしばらくしてからのことです。Aさんはなかなか次の仕事が見つからず、時間が過ぎてしまいました。ますます、今後の生活が不安になってしまいました。そんな中、先日、奥さんから聞いた残業代請求のことが、どんどん気になっていきました。

3か月後

それから三か月後のことです。



こちらは、B社長の会社の事務員さんです。

『社長、今、お電話よろしいでしょうか。
今、会社で、突然、Aさんの弁護士と名乗る方から、内容証明郵便というものが届きました。未払の残業代450万円を一括で支払えと書いてあります』



『ええー！450万円！！いったいなんで、そんなことになってるんだ。そんな大金、一括で支払ったら、もう資金繰りが一気に回らなくなってしまうくらいのお大金だぞ。しかも弁護士から内容証明郵便って、ただごとじゃないな。よし、私も弁護士の先生に相談しよう』



『こんにちは。B社長、今日はどういったご相談ですか？』

B社長は、事情を説明しました。

『なるほど、そういった事情でしたか。では、先方から届いたその内容証明について、検討していきましょう』

朝と夕方 置き場 ↔現場

『まず、Aさんの弁護士は、Aさんが、朝、資材置き場に行って建築資材などを現場に運び、夕方は建築資材などを現場から資材置き場に戻す業務を指示されていたと主張していますが、これは正しいということですか？』

『はい、それは毎日指示していました』

朝夕の移動時間 毎日2時間～ 4時間分の残業

『なるほど、それで、Aさんは、建築現場での労働時間だけでなく、朝の資材置き場から建築現場までの移動時間と、夕方の建築現場から資材置き場までの移動時間も労働時間に含まれると主張していますね。そして、だいたい、毎日2時間から4時間分の残業代が発生していると主張していますね。これを一定期間過去にさかのぼって請求されていますので、かなりの金額になりますね。しかも、1時間あたりの時間給の1.25倍を請求されていますね』



『ええー！そんな、現場についてからが労働時間だと思ってたのですが、資材置き場に行ってから資材を現場に運ぶまでの時間も労働時間になってしまうのでしょうか？』



『いろいろなケースがありますが、そのような業務命令があったということであれば、そういった資材を運ぶための移動時間も労働時間だと判断されている類似のケースは、たしかに、ありますね』

『ええー！そ、そんなあ。まいったなあ』

『あ、でも、先生、そういえば、うちでは、Aさんを部長として扱っていたので、残業代はいらないのではないのですか？部長にすれば残業代は、いらないって聞いたことがありますて』

部長

管理監督者

『その点については、法律上、管理監督者という立場であると認定されれば一部の残業代が発生しないことがあるのですが、お聞きした事情からすると、部長になる前と後で働き方や待遇が変わっておらず、労働時間の裁量や人事権もないとなると、なかなか、管理監督者とは認めてもらえない可能性が高いと思います』

『ええー！そ、そんなあ。まいったなあ』

固定残業代

色々なケース 無効の可能性



『じゃあ先生、もう一つ、建設業はどうしても突発的な残業が発生してしまう面があるので、残業代を固定額で払っているんです。うちの会社では、この固定額以上の残業代は、どれだけ残業しても払わないというルールにしまして、これをみんなに口頭で説明したところ、みんな納得してくれたので、固定の残業代制度にしているんですけど、これはどうですか？』

『それについては、色々なケースがありまして、色々な事情によって結論が変わるのですが、固定額以上はどれだけ残業しても払わないというルールを口約束で、約束した、というケースですと、そのような合意は裁判では無効とされてしまう可能性は大いにあります』

『え、ええー！そんなあ、大変だー、なんてこったー』

<参考>

よくある残業代トラブルの相談例をマンガ形式でご紹介しました。

もちろん、最終的な結論は、ケースバイケースであり、裁判になってみないとわからないケースが多いですが、残業代に関する法律や判例の取り扱いについて、悪気なく、誤解してしまっていた結果、あとあとトラブルになってしまうケースが多くあります。

特に、労働時間の算定、管理監督者の概念についての理解、固定残業代については、そもそも理解の難しい所であり、誤った取り扱いをしたまま長期間が経過してしまい、時間が経ってからトラブルになる、そして、そのほうが大ごとになってしまうということもよくあるところでは。

しばらく時間が経ってからこのような紛争になってしまい、さかのぼって金銭の支払いをしなければならないことになる、しかも一時金で支払わなければならないなどの可能性があり、リスクがあります（この物語は制作時点の情報になりますので最新の法改正、判例変更にご注意下さい）。